

鹿児島県漁海況週報

令和3年11月25日発行(11月18日～11月24日)
第2930報【旧暦:10月14日～10月20日/月齢:13.2～19.2/潮汐:大潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、11月19日現在、屋久島御崎の南8.4マイル付近にある。

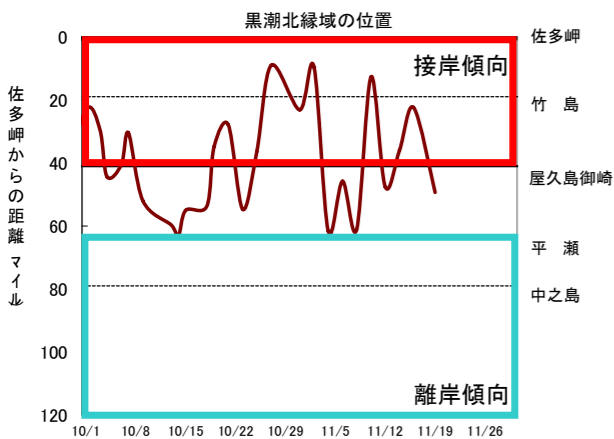
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、11月23日現在、41マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して黒潮流域、佐多岬で0.1～0.3℃昇温し、笠利崎で変わらず、その他の海域で0.1～1.1℃降温した。

平年比較では、与論で“やや高め”，佐多岬、竹島、笠利崎で“やや低め”，その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.4	+0.1	+0.1	平年並
鹿児島	21.3	-0.2	-0.2	平年並
佐多岬	21.6	+0.3	-0.9	やや低め
竹島	23.0	-0.7	-0.7	やや低め
屋久島御崎(永田岬)	24.3	-0.1	+0.2	平年並
中之島	25.0	-0.1	+0.1	平年並
笠利崎	23.8	+0.0	-0.6	やや低め
与路島	25.0	-0.7	+0.2	平年並
与論	25.5	-0.2	+0.5	やや高め
甕海峡	21.4	-1.1	+0.2	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は11/18-11/19
串木野一甕定期客船観測は11/24

【漁況】

○定置網

甕島海域では、スマ(1.0kg)が20kg/日の入網。西薩南部海域では、ブリ(3～4kg)が1トン/日、ゴマサバ(300～400g)が多い日で200kg/統、イサキ(300g)が1日のみ100kg/統の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、カンパチ(1～3kg)が100～480kg/統・日、ハガツオ(1.5kg)が100～620kg/統・日、スマ(2.5kg)が120～240kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でゴマサバ(500～800g)が1.2トン、タチウオ(720g)が410kg、ハガツオ(1.5～5kg)が400kg、カンパチ(1.3kg)が360kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で36統がカンパチ、カタチイワシ、タチウオ主体に10トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でブリ、タチウオ、サワラ、ヤマトマス主体に12.7トンの入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、1日のみ5箱/隻の漁。

○バッチ網

志布志湾海域では、製品で5.6tの入札があった。

○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～5kgを10～15尾/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で4kgを971尾の漁。大隅半島南部海域では、3～6kgを70～150尾/日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2881報)

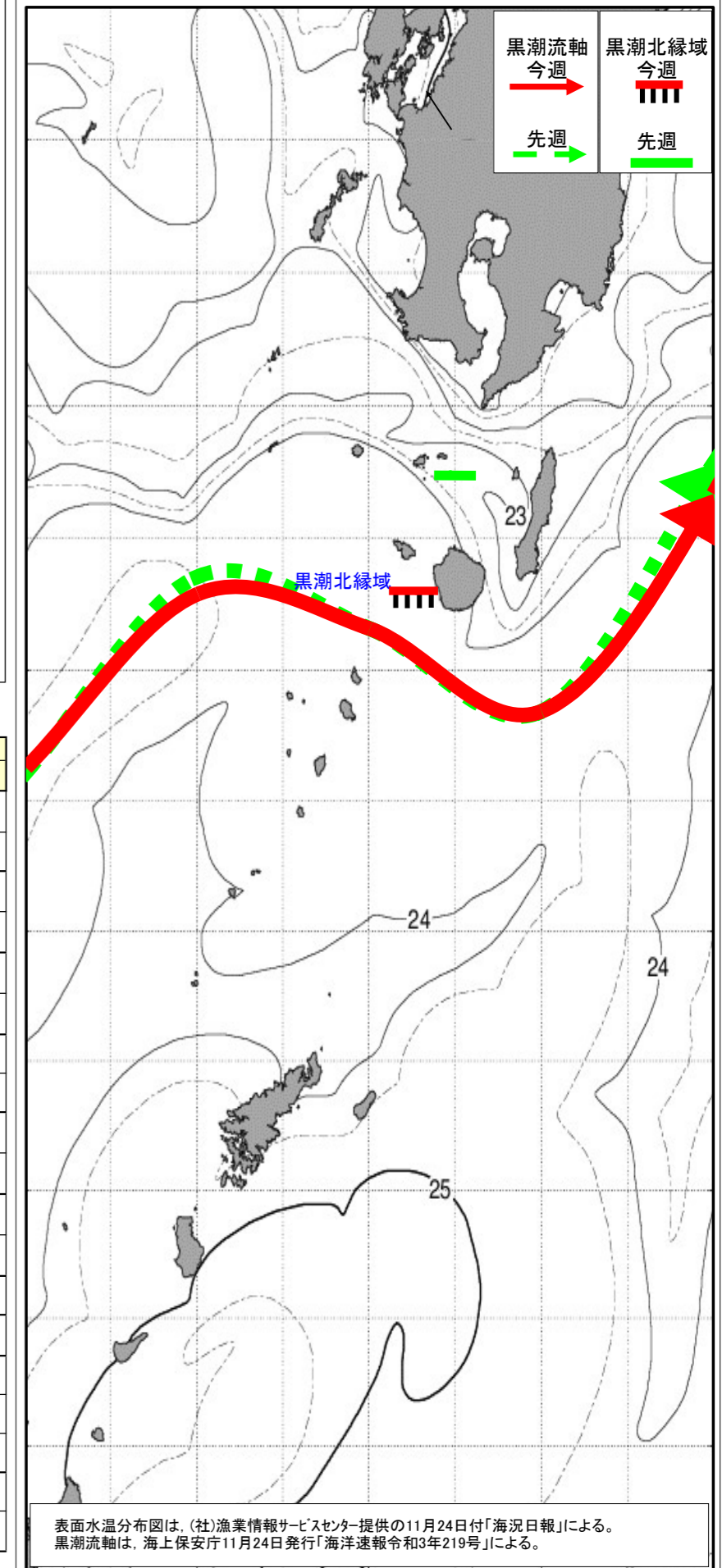
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期		
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—		—	0	—	0	—	
		中	0	—		—	2	1	5	39	
	枕崎	大	0	—			—	4	176	0	—
		中	0	—			—	12	188	4	92
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	0	0			—	4	176	0	—	
	中	0	0			—	14	189	9	131	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	4	3	阿久根沖	ウルメイワシ90 マジ仔8	0.9	28	12	1	0.4	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	36	10		カンパチ15 カタチイワシ10 タチウオ8	0.3	39	18	42	26	
刺網	阿久根	13	1	甕長島牛深沖	キビナゴ100	0.1	37	4	22	2	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—			—	0	—	0	—
	山川	海旋	0	—			—	0	—	1	663
		中	0	—			—	0	—	0	—
	海旋	0	—			—	1	773	1	83	

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを2,000～3,000尾/隻・日、屋久島海域では、中トビを20～50箱/統・日の漁。

○その他

甕島海域では、曳縄でスマ(1.5kg)を30kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～2kg)を10～20kg/隻・日の漁。一本釣りでメジナ(500g)を多い日で20kg/隻、カンパチ(2～3kg)を15kg/隻・日の漁。小型底曳網でツキヒガイ(100g)を30～100kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、小型底曳網でヒゲナガエビを90kg/隻・日の漁。曳縄でハガツオ(1.5kg)を60～160kg/隻・日、サワラ(5kg)を多い日で150kg/隻、スマ(1.5kg)を70kg/隻・日、キハダ(1.5kg)を30kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、小型底曳網でマダイ(1kg)を20～30kg/隻・日、ガンゾウヒラメ(400～500g)を20～30kg/隻・日、ハモ(600～800g)を10～20kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでゴマサバ(500～600g)を20～30尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの1～5日操業でソデイが胴体のみ6～7kg)を15～140ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の11月24日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁11月24日発行「海洋速報令和3年219号」による。